

ほすびたる

No.779

令和 7 年 7 月 20 日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報	福岡県病院協会 第13回定時会員総会	公益社団法人福岡県病院協会事務局	1
病院管理	“病棟医／病院総合医”の 育成と活用をめざして	福岡県済生会二日市病院 副院長 門上 俊明	5
	当院におけるペイシエント ハラスメント対策	福岡赤十字病院 統括副院長 永井 英司	8
	当院における嚥下サポート チームの取り組み —誤嚥・窒息事例ゼロを目指して—	宗像医師会病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 坂田 勝範	10
	初めての個別指導対応を通じて 見えた課題と学び	福岡県済生会福岡総合病院 医事課長 井上 芳枝	13
	アナログな生活	医療法人緑心会福岡保養院 作業療法士 原田 大輔	14
看護の窓	働きやすい職場づくり ～職員に寄り添うプロジェクト～	国立病院機構九州医療センター 看護部長 太田 恵子	16
E s s a y	人体旅行記 乳房（その二十八）	国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之	19
Letter	医学・医療の歴史物語 その9 ～異色の科学者高峰譲吉	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園看護専門学校 顧問 朔 元則	20
	福岡県私設病院協会 令和7年5月～6月の動き		24
	福岡県病院協会だより		25
	編集後記	岡嶋泰一郎	37

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベットマットのリース・洗濯
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ販売・給食・配茶

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

理事長 中尾 一 久

専務理事 津留 英智
理 事 江頭 啓介
理 事 松村 順
理 事 木村 寛

理 事 鬼塚 一郎
監 事 田中 圭一
監 事 横倉 義典
事務局長 日比生英一



JQA-QMA
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable

清潔さと快適さを追求します



福岡県病院協会 第13回定時会員総会

日 時 令和7年6月24日(火) 17:00~17:23
場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡
(福岡市博多区博多駅前3丁目3番3号)
総会出席者 当日出席者 25名, 委任状提出者 176名
計 201名(総会員数 241名中)

会員広報

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

■開会宣言

壁村専務理事は、第13回定時会員総会開会を宣言。

■総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、総会員数241名に対し、出席者は委任状を含め201名と会員の過半数を超えており、定款第17条に照らし総会が適法に成立していることを報告。

■会長挨拶

中村雅史会長挨拶。

■議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、大村重成 医療法人緑心会福岡保養院理事長・院長と本村健太 飯塚病院院長を選出。

■議案審議(岡嶋議長)

○第1号議案「令和6年事業報告について」

壁村専務理事から、概ね次のように報告された。

I 総務関係 ～会員数について

入会者は2会員、退会者は3会員であり、この結果、同年度末現在の会員数は242会員である。

II 総会の開催状況

令和6年6月25日に第12回定時会員総会を開

催し、令和5年度事業報告など4つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

また、令和7年3月25日に臨時会員総会を開催し、令和7年度事業計画など3つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

III 理事会について

第91回から第96回まで6回、臨時理事会1回の計7回開催し、会務の執行に当たった。(詳細は議案書に記載のとおり)

IV 「ほすびたる」関係

編集委員会を計6回開催し、隔月、20日に合計6回発刊した。(詳細は議案書に記載のとおり)

V 研修会・県民公開医療シンポジウム関係

1 各種委員会等の開催状況

各種委員会等の開催状況
看護委員会、リハビリテーション委員会、企画委員会を各2回、その他の委員会を各1回開催した。

(詳細は議案書に記載のとおり)

2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

研修会一覧

月別	研修会名	開催日	会 場	参加人数
7月	第170回看護研修会	R6. 7. 2 R6. 7. 3~8	セミナー配信、オンデマンド配信	328名
	第171回看護研修会	R6. 7. 31	ナースプラザ福岡	81名

10月	第1回りハビリテーション研修会	R6. 10. 5	九州大学医学部百年講堂	88 名
	第72回栄養管理研修会	R6. 10. 2 R6. 10. 3～8	セミナー配信、オンデマンド配信	114 名
1月	令和6年度診療情報管理研修会 グループワーク	R7. 1. 21	九州大学医学部百年講堂	20 名
	第9回臨床検査研修会	R7. 1. 25	浜の町病院（WEBとのハイブリッド）	43 名
2月	令和6年度第1回経営管理研究会	R7. 2. 17	九州大学医学部百年講堂	122 名
3月	第9回病院研修会	R7. 3. 4	九州大学医学部百年講堂	90 名
	第65回診療情報管理研究研修会	R7. 3. 10	九州大学医学部百年講堂	54 名
	第124回医療事務研究会	R7. 3. 14	九州大学医学部百年講堂	109 名
	第21回りハビリテーション研修会	R7. 3. 15	九州大学医学部百年講堂	120 名
	第172回看護研修会	R7. 3. 17～18	九州大学医学部百年講堂	210 名

Ⅵ その他の事項

四県病院協会連絡協議会を主催し意見交換したほか、「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を1年間更新した。（詳細は議案所に記載のとおり）

以上、第1号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第2号議案「令和6年度収支決算について」

1 令和6年度収支決算

伊東財務理事から、令和7年3月31日現在における貸借対照表、当期における正味財産増減計算書及び同内訳表等に基づき説明があった。なお、「貸借対照表」及び「令和6年度正味財産増減計算書内訳表」は、次のとおりである。

貸 借 対 照 表
(令和7年3月31日現在)

		(単位：円)		
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	5,965,053	6,628,027	-662,974	
普通預金	5,263,904	6,116,210	-852,306	
福岡銀行赤坂門支店	5,263,904	6,116,210	-852,306	
定期預金	500,531	500,173	358	
郵便振替	200,618	11,644	188,974	
前払金	41,970	19,240	-62,870	
流動資産合計	6,007,023	6,647,267	-640,244	
2 固定資産				
(1) 基本財産				
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	10,873,863	9,893,282	980,581	
財政調整積立金	5,896,200	5,968,800	-72,600	
特定資産合計	16,770,063	15,862,082	907,981	
固定資産合計	16,770,063	15,862,082	907,981	
資産の部合計	22,777,086	22,509,349	267,737	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	181,836	510,311	-328,475	
前受金	143,600	203,600	-60,000	
会費	60,000	60,000	0	
広告料	83,600	83,600	0	
その他		60,000	-60,000	

預り金	243,687	311,794	-68,107
社会保険料	125,537	194,532	-68,995
雇用保険料	73,440	70,542	2,898
源泉所得税	44,710	46,720	-2010
流動負債合計	569,123	1,025,705	-179,866
2 固定負債			
退職給付引当金	12,246,616	11,969,900	276,716
固定負債合計	12,246,616	11,969,900	276,716
負債の部合計	12,815,739	12,995,605	-179,866
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	9,961,347	9,513,744	447,603
正味財産の部合計	9,961,347	9,513,744	447,603
負債及び正味財産合計	22,777,086	22,509,349	267,737

正味財産増減計算書内訳表（抜粋）
（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：円）

科 目 名	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合 計
	シンポジウム	研 修	公益共通	小 計	機関紙	研究会	収益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常収益										
（1）経常収益										
特定資産運用益	12	11,133		11,145	5	1		6	10	11,161
受取入会金			10,000	10,000					10,000	20,000
受取会費			5,073,250	5,073,250			2,174,250	2,174,250	7,247,500	14,495,000
事業収益	1 020,000	5,651,000		6,671,000	1,049,500	924,000		1,973,500		8,644,500
受取補助金等	625,000	1,875,000		2,500,000	2,888,000	722,000		3,610,000		6,110,000
雑収益		36	2,359	2,395					20,824	23,219
経常収益計	1,645,012	7,537,169	5,085,609	14,267,790	3,937,505	1,646,001	2,174,250	7,757,756	7,278,334	29,303,880
（2）経常費用										
事業費	3,971,128	13,504,528		17,475,656	5,436,647	1,075,210		6,511,857		23,987,213
管理費									4,756,729	4,756,729
経常費用計	3,971,128	13,504,528		17,475,656	5,436,647	1,075,210		6,511,827	4,756,729	28,744,242
特定資産評価損益等		-62,035		-62,035						-62,035
当期経常増減額	-2,326,116	-6,029,394	5,085,609	-3,269,901	-1,499,142	570,791	2,174,250	1,245,899	2,521,605	497,603
2 経常外増減の部										
（1）経常外収益										
（2）経常外費用										
特定資産売却損										
退職給付引当金減額										
経常外費用計										
当期経常外増減額		0		0	0	0		0	0	0
他会計振替額										

税引前当期一般正味財産増減額	-2,326,116	-6,029,394	4,842,906	-3,269,901	-1,499,142	570,791	2,174,250	1,245,899	2,521,605	497,603
法人税、住民税及び事業税									50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	-2,326,116	-6,029,394	4,842,906	-3,269,901	-1,499,142	570,791	2,174,250	1,245,899	2,471,605	447,603
一般正味財産期首残高	-30,719,131	-47,081,177	52,857,822	-24,942,486	-22,907,180	91,968,017	18,905,810	5,966,647	28,489,583	9,513,744
一般正味財産期末残高	-33,045,247	-53,110,571	57,700,728	-28,212,387	-24,406,322	92,538,808	21,080,060	7,212,546	30,961,188	9,961,347
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
Ⅲ 正味財産期末残高	-33,045,247	-53,110,571	57,700,728	-28,212,387	-24,406,322	92,538,808	21,080,060	7,212,546	30,961,188	9,961,347

(別表) 委嘱する参与

団 体 名	役 職 名	氏 名	備考
福岡県医師会	会長	蓮澤 浩明	再任
福岡県看護協会	会長	濱田 正美	新任
福岡県薬剤師会	副会長	後藤 渉	再任
福岡県歯科医師会	会長	江里 能成	再任
福岡銀行	地域共創部長	大島 輝久	再任
西日本シティ銀行	執行役員 法人ソリューション部長	井上 和之	再任
福岡県弁護士会	弁護士	野田部 哲也	新任
日本公認会計士協会北部九州会	公認会計士	酒瀬川 泰裕	新任
西日本新聞社	報道センター編集委員	鶴 加寿子	再任

(委嘱期間: 令和9年6月30日まで)

2 監査報告

野村監事による当期の計算書類が適正に処理されており事業報告も適正である旨の監査報告が行われた。

以上、第2号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第3号議案「参与の委嘱について」

壁村平専務理事は、現在の参与については2年間の任期がこの6月末で終了するため、新たな参与の推薦を各団体をお願いしたところ、第3号議案にある方々が推薦されたと報告した。なお、任期は、来月から2年間とな

ることを補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、議場に諮ったところ、過半数を超える拍手をもって承認可決された（別表）。

■議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

■総会終了

壁村平専務理事から、議長に対する謝辞と閉会を開催する旨が述べられ、第13回定時会員総会は滞りなく終了した。

“病棟医／病院総合医”の 育成と活用をめざして

福岡県済生会二日市病院
副院長

門上 俊明

はじめに

近年、急性期から慢性期まで多様な病態の患者に柔軟に対応できる医師の必要性が高まるなか、「病棟医」あるいは「病院総合医」という新たな医師像が注目されています。彼らは、従来の縦割り型臓器別診療科の枠を超えて病棟運営や医療チームの要となる役割を担い、地域包括ケアの実現にも寄与する存在です。本稿では、当院整形外科病棟における病棟医導入の実践例を通じて、その意義と今後の育成・展開について考察します。

病棟医／病院総合医の定義と背景

ここで当院でいう「病棟医」とは、巷間と言われる「病院総合医」とほぼ同義であり、“総合的診療能力”、“多職種チーム医療のリーダー”、などのキーワードで特徴づけられるものです。

日本病院総合診療医学会では、病棟医（病院総合診療医）を「様々な規模・機能の病院において、リーダーシップとマネジメント力を発揮し、多様な疾患の患者を診療し、チーム医療の中心として機能する医師」と定義しています。一方、日本病院会の定義では、「多様な病態を

	整形外科	
	病棟総合医でも対応可	主治医対応が困難な場合には病棟総合医でも対応可
経管栄養チューブ挿入指示		
経管栄養チューブ挿入後のレントゲン確認		
疼痛コントロール（薬剤変更や追加、用法や用量の変更）		
スキントラブル（湿疹や褥瘡等含む）→必要時は皮膚科コンサルトまで		
褥瘡・創傷（点潰瘍を含む）→必要時は皮膚科コンサルトまで		
排便コントロール→必要時は消化器内科コンサルトまで		
排尿コントロール→必要時は泌尿器科コンサルトまで		
睡眠コントロール		
せん妄コントロール		
メンタルコントロール		
栄養コントロール→必要時は栄養部・NSTコンサルトまで		
口腔ケア・嚥下コントロール（VEやVF検査必要時には主治医にコンサルト）		
喫食量低下時や脱水時の点滴処方		
発熱時の対応（熱源検査等）→必要時は他科コンサルトまで		
処方中止指示（看護師・薬剤師からの依頼分）		
検査中止指示や検査日の変更（看護師からの依頼分）		
電解質補正（Na・K等　まず食事あるいは経管栄養の内容で対応　必要に応じて内服・点滴等でも補正）		
薬剤師からの疑義照会への対応		
持参薬承認（抗凝固剤や抗血小板剤を除く）		
定期内服中の薬剤の処方（投与量調整中の薬剤（ステロイド等）や投与期間限定の処方（抗生剤等）は除外）		
ベルソムラ定期処方、カロナール頓用処方等の標準的な指示（主に看護師からの依頼分）		
リハビリオーダー（セラピスト、看護師からの依頼分）		
指示コメント入力（“モニター要・不要”等の看護師依頼分）		
必要時指示オーダー（不眠時やせん妄時の必要時指示未入力の場合等）		
感染症管理（インフルエンザやCDトキシン検査オーダー入力等）		
ネブライザー処置の指示		
血糖コントロールへの対応（インスリン投与量の変更等）→必要時は糖尿病内科コンサルトまで		
消化器疾患領域への対応→必要時は消化器内科・外科コンサルトまで		
呼吸器疾患領域への対応→必要時は呼吸器内科・呼吸器外科コンサルトまで		
脳神経疾患領域への対応→必要時は脳神経内科・脳神経外科コンサルトまで		
整形外科疾患領域への対応→必要時は整形外科コンサルトまで		
腎泌尿器疾患領域への対応→必要時は腎臓内科・泌尿器科コンサルトまで		
循環器疾患領域への対応→必要時は循環器内科・血管外科コンサルトまで		
往診が必要な疾患領域への対応（電話による診療予約や情報提供書作成等）		
他科外来受診が必要な疾患領域への対応（電話による診療予約や情報提供書作成等）		

図1「診療行為許可リスト」

済生会熊本病院で使用されているものをひな型として、当院の「病棟医」が整形外科チーム（主任部長および医長）と慎重に検討を重ねて作成した。従来の整形外科“主治医”が担ってきた病棟でのさまざまな役割のうち、どの部分を「病棟医」にタスクシフトするかを明確にするためのリストである。それぞれの“診療行為”はできるだけ具体的に記述され、あいまいさや誤解を生じる余地が最小となるように配慮されている。

有する患者に対し、包括的・柔軟に対応できる総合的診療能力を持ち、地域医療にも貢献できる医師」とされており、病棟医の求められる役割は多岐にわたります。

当院での取り組み：整形外科病棟への導入

当院では2023年9月に「病棟医」システムを整形外科病棟へ導入することを決め、済生会熊本病院の先駆的実例を参考に、およそ半年間の準備期間を経て2024年4月に兼任の「病棟医」1名を配置してスタートしました。同年7月に専従「病棟医」1名を採用して現在に至っています。最初に整形外科病棟を選択した背景には、高齢患者の増加に伴う内科的サポートの必要性があり、内科系のベテラン医師を病棟医として配置することで、整形外科チームと協働する体制を構築しました。

この「病棟医」システム導入に際しては、準備段階で整形外科チーム関係者たちに基本コンセプトをていねいに説明し、これを理解し共有してもらうことを大切にしました。またシステムの要点は「病棟医」を中心とした多職種間のタイムリーでスムーズなコミュニケーションであり、これを達成するためにいくつかの方略を

用いました。そのひとつが診療行為の権限範囲を明確にした「診療行為許可リスト」の作成であり、多職種間での円滑な業務分担を可能にしました（図1）。

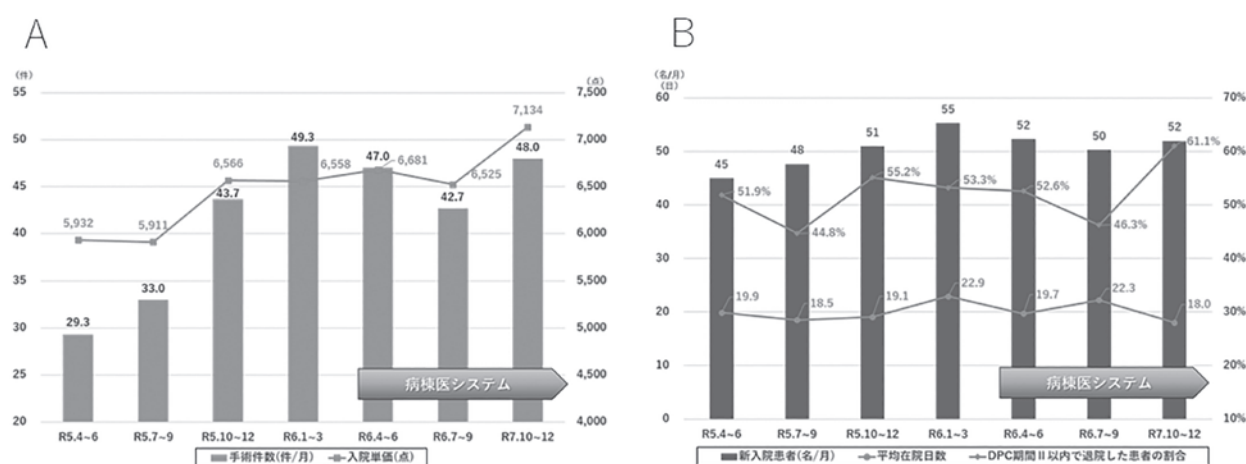
さらに、リハビリテーション・栄養・口腔ケアの連携体制を整備し、2024年の診療報酬改定で新たに設定された「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」の要件を満たす体制へと移行しました。

成果と効果

病棟医導入によって得られた具体的成果はこれまでのところ以下のとおりです。

- 整形外科スタッフの増員や時間外労働時間の増加なしに手術件数の増加と在院日数の短縮を達成した（図2）。
- 看護師の時間外労働時間を短縮させる効果が認められた（図3）。
- 周術期合併症（三大合併症：誤嚥性肺炎、尿路感染症、せん妄）の重症化を防止することができ、結果として転院スケジュールを変更（延期）する必要がなく在院日数の

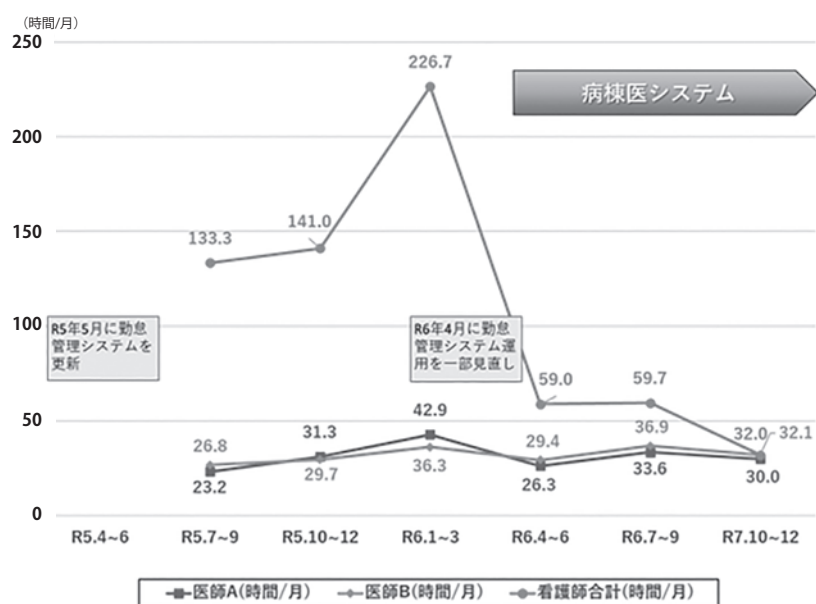
図2 整形外科における手術実績および在院日数の推移



(A) 「病棟医」システムの導入後に、手術件数が増加して入院診療報酬単価が上昇した（対前年同期比）。

(B) 入院患者数が増加した一方で、平均在院日数はほぼ不変であった（対前年同期比）。病棟管理の効率性を向上させることにより、より多くの手術症例の受け入れを達成できたと考えられる。

図3 整形外科病棟における看護師の時間外労働時間の推移



「病棟医」システムの導入後に手術件数が増加した一方で、整形外科医の時間外総労働時間数は変化しなかった。さらに「病棟医」システムの導入が病棟看護職員の時間外労働時間に及ぼす影響を検討したが、ほぼ時期を同じくして行われた勤怠管理システム運用の変更の影響があつて導入前後での単純な直接比較ができなかった。しかしながら「病棟医」システム運用開始後に経時的に時間外労働時間が減少傾向にある点が特筆される。

短縮に寄与したと考えられた。

- 『リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算』の要件に準拠した体制を整備し適切に運用を始めることができた。

育成と今後の展望

当院は2025年度より、日本病院会の「病院総合医」育成プログラム認定施設として、体系的な人材育成に取り組みます。重要なポイントとは特定の“スーパードクター”に依存する体制ではなく、職種間でコンセプトを共有し多様な人材による持続可能なチーム医療体制を築くことです。

この「病棟医」システムをほかの診療領域に拡大させるにあたっては、それぞれの診療科の特性に応じたニーズをしっかりと把握したうえで、その診療科のニーズにマッチした人材を用いる必要があります。多くの場合はその診療科のバックグラウンドを持った人材がふさわしいと考えられます。

「病棟医」の柔軟な導入は、限られた医療資源を有効活用し包括的な医療の質の底上げに寄与する有力な方策の一つと言えるでしょう。

おわりに

「病棟医」／「病院総合医」の育成と活用は、医療の質・効率・連携のすべてを底上げする重要な戦略です。私たちは今後も現場のニーズに応じた柔軟かつ実効性ある導入・育成を継続し、持続可能な病院運営の一助となるよう努めてまいります。

【参考文献】

- 1 デシュパンデ・ゴータム. 米国におけるホスピタリスト医療：成熟する新しい専門領域. 日内会誌 103：155～159, 2014.
- 2 日本病院会認定 病院総合医 育成事業. <https://www.hospital.or.jp/sogoi/> (2025年5月8日閲覧)
- 3 星乃明彦. 済生会熊本病院における病院総合医の働き方. 病院経営羅針盤. 2023年9月1日. No.239.

当院におけるペイシェントハラスメント対策

福岡赤十字病院
統括副院長

永井 英司

近年、一般社会では顧客等からの著しい迷惑行為（いわゆるカスタマーハラスメント）が大きな問題になっています。厚生労働省は「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」（令和2年厚生労働省告示第5号）を策定して顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為に関して、事業主は、相談に応じ適切に対応するための体制の整備や被害者への配慮の取り組みが望ましい旨、また被害を防止するための取り組みを行うことが有効である旨が示されています。厚労省の委託事業「令和5年度職場のハラスメントに関する実態調査」によりますと、業種別に割合が高い上位3つの業種は、「生活関連サービス業、娯楽業」（16.6%）、「卸売業、小売業」（16.0%）、「宿泊業、飲食サービス業」（16.0%）ですが、「医療、福祉」もそれらに次いで15.1%と上位にランクされます。

医療現場におけるカスタマーハラスメント（ペイシェントハラスメント：ペイハラ）には、①暴行・傷害などの身体的攻撃や、②脅迫・名誉棄損・侮辱などの精神的な攻撃、③質問等についての執拗かつ辛辣な対応要求やその強要、④執拗なまでの付きまといや威圧・恫喝、⑤医療行為に対する執拗かつ辛辣な批難や批判と責任追及、⑥診療上の指示・指導の受け入れ拒否や無視などが見られ、ペイハラ患者・家族の言動は明らかに度を越したものが認められます。医療従事者がペイハラ患者に対して長時間の対応を強いられることにより、心理的、肉体的消耗につながることからペイハラ対策はスタッフの離職防止、勤務環境改善や他の善良な

患者を守る観点からも重要と考えられます。当院でも長時間にわたっての繰り返される説明や謝罪の要求、繰り返される暴言、長時間に及ぶ電話対応などの事例があり、病院全体での対策が求められていました。一方で、患者からの訴えの中には患者や家族が医療サービスに対して抱いた不満を伝える場合もあります。たとえば「待ち時間が長い」「説明が不十分だった」など、医療の質や対応に関する正当な意見も多く、医療の改善に資する場合があります。そこで患者からの訴えをペイハラと判断する場合には、(1)表現の態様、(2)目的の妥当性、(3)社会的許容性などの観点から十分に検討する必要があります。

当院ではこれまでに院内暴力への対応指針は整備されていましたが、医療従事者に対する暴言や長時間拘束される等の対応に苦慮する事案に対処する方法は未整備で、院内でペイハラ対応を統一するためにペイシェントハラスメント対策ワーキングを2024年8月に立ち上げ、多職種で検討しました。このワーキングではペイハラ対策指針の作成とそれを周知するための活動を検討の中心としました。

まず、指針の作成にあたっては、その中心となる3本柱を、①病院組織で対応する、②毅然と対応する、③警察への相談・通報をためらわないということにしました。

① 病院組織として対応する

まずは病院として「職員をペイハラから守る」ということを明確にして、ペイハラ対策を遂行するということを全職員に表明しました。現場の当事者、担当者のみに任せるのではなく

病院組織としてのバックアップ体制を構築しました。病院がペイハラに対して毅然と対応することを明確にしてポスターの掲示を行いました（図1）。

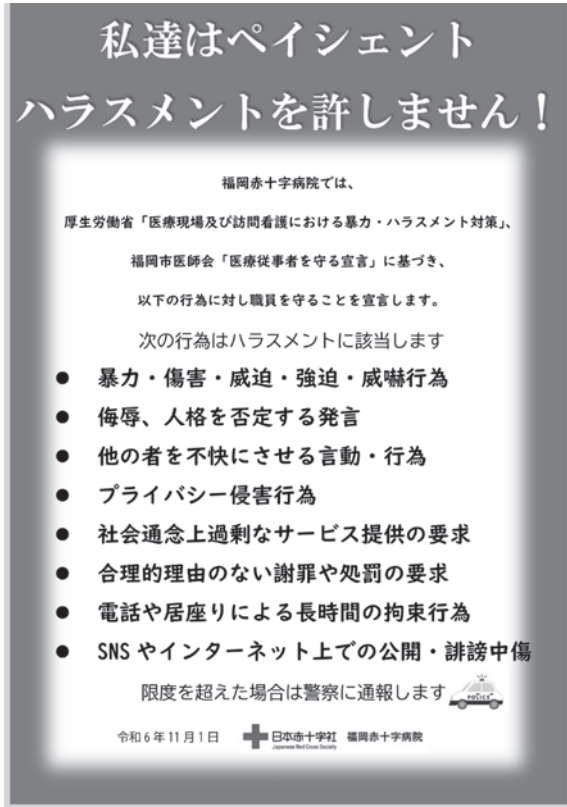


図1

② 毅然と対応する

医師法第19条1項には「診療に従事する医師は、診察治療の求があつた場合には、正当な事由がなければ、これを拒んではならない。」と、応召義務を定めていますが、これを盾に無理難題を押し付けることには問題があることを明確にし、信頼関係が構築できないと思われる場合には、診療拒否事案に当たるかどうかを含めて十分に検討しています。

③ 警察への相談・通報

万一の事態が発生した際には直ちに福岡県南警察署から警察官を派遣してもらえるよう事前に協力要請をしていることを周知しています。

ペイハラ対策活動周知の一環として、指針作成後の2024年11月18日に長年ペイハラ問題に対応され、豊富な知識と経験をお持ちの弁護士である福岡博孝先生に全職員を対象に院内講演会を行って頂き、ペイハラ対策の重要性をお話し頂きました。参加者も多くスタッフから質

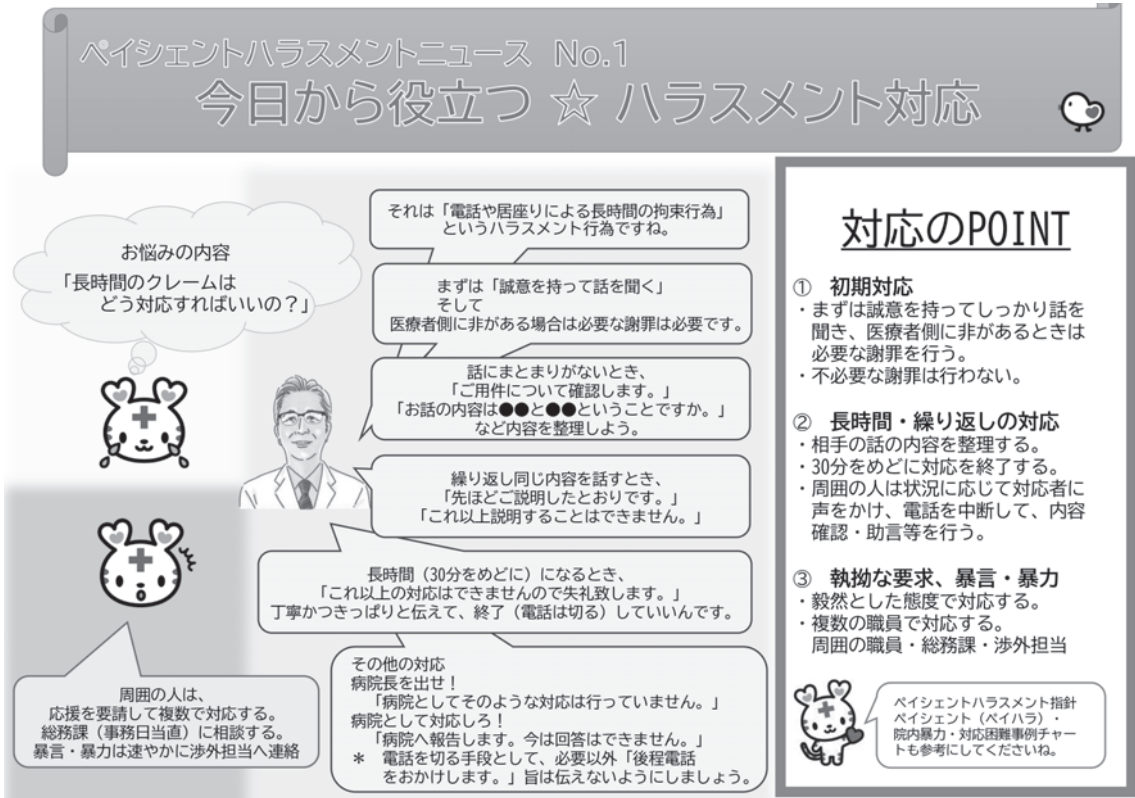


図2

福岡赤十字病院

疑があり、この問題に関する関心の高さが伺えました。

一方、現場での実際の対応ポイントをチラシにして院内に配布しています（図2）。主な内容は以下の通りです。

- ① 初期対応として、まずは誠意を持ってしっかり話を聞き、医療者側に非があるときは必要な謝罪を行います。が、不必要な謝罪は行わないようにします。
- ② 長時間・繰り返しの対応は、相手の話の内容を整理し、30分をめどに対応を終了します。周囲の人は状況に応じて対応者に声をかけ、内容確認・助言等を行います。
- ③ 執拗な要求、暴言・暴力に対しては毅然とした態度で対応します。複数の職員（周囲の職員・総務課・渉外担当）で対応します。

これまでのペイハラ対策活動によって担当者へのペイハラ関連の相談は増えています。ペイハラをペイハラとして認識し、現場でストレスを抱えて我慢することなく、報告、相談できるようになった事が理由だと思われます。現場での細かなペイハラ事案をすべて把握できるわけ

ではありませんが、現場には今後も病院が「職員をペイハラから守る」ということを伝え、全職員が安心して職務が遂行できる環境を整えていきたいと思っています。

【参考文献】

- 1 福崎博孝著（2023）『医療事故・ペイシェントハラスメント 紛争予防・解決の実践的手法 患者・家族との向き合い方』
- 2 【全体版】「新潟県病院局ペイシェントハラスメント対策指針」https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/life/677384_2027172_misc.pdf
- 3 厚生省労働省「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」[mhlw.go.jp/content/11900000/000915233.pdf](https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000915233.pdf)
- 4 厚生労働省「令和2年厚生労働省告示第5号」<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000605661.pdf>
- 5 厚生労働省「職場のハラスメントに関する実態調査 結果概要」<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/001259093.pdf>

病院管理

当院における嚥下サポートチームの取り組み — 誤嚥・窒息事例ゼロを目指して —

宗像医師会病院
リハビリテーション科 言語聴覚士

坂田 勝範

1. はじめに

当院は急性期病棟を中心に地域包括医療病棟、緩和ケア病棟を有する164床のケアミックス病院です。入院患者の高齢化に伴い嚥下機能

が低下している患者が年々増えており、治療対象となっている疾患の治療に加えて誤嚥に対するケアの重要性が増しています。当院でも入院患者の誤嚥・窒息による重大事故が増加傾向にあったため、摂食嚥下障害を持つ患者に対して

多職種で効果的な支援を行うためのチーム、嚥下サポートチーム（Swallowing Support Team, SST）を2024年春に新たに立ち上げました。本稿では当院でのSSTの活動について紹介します。

2. 当院でのSSTの目的

当院では言語聴覚士2名が専門的に嚥下評価・訓練を行っています。日々変化する患者の嚥下状態に対して、言語聴覚士の評価内容が病棟看護師や看護助手までスピーディに情報が共有されなかったり、状態変化に伴い嚥下状態が悪化している中で適切な看護介入ができていなかった等の問題点がありました。そのため、SSTでは入院早期に誤嚥や窒息リスクのある患者や、状態変化に伴いリスクが高くなった可能性のある患者を拾いあげるシステムを立ち上げました。多職種間での情報を強化し、入院患者の誤嚥・窒息による重大事故件数ゼロを目的に活動しています。

3. チームの構成・活動内容

SSTは医師、看護師、管理栄養士、言語聴覚士などさまざまな専門職種で構成されています。カンファレンスを毎月1回実施して、各職種

の専門的な観点から嚥下状態不良の患者を拾い上げるスクリーニングの活用実績やチェック漏れの報告、各病棟での嚥下に対するヒヤリ・ハット事例等の情報を共有し、解決法の議論の場を設けています。さらにSSTの取り組みが各部署に浸透するよう活動しています。

4. SSTの具体的な動き

1) 栄養管理計画書を用いてのスクリーニング
全ての入院患者に対し、病棟看護師が入院72時間以内に嚥下スクリーニング（図1）を実施しています。但し、入院時に嚥下障害が明らかな場合は、主治医や看護師から早めに連絡をもらい言語聴覚士が速やかに嚥下評価を実施し、情報を提供しています。スクリーニングで1つでも該当項目があれば、嚥下障害に対する看護計画を立案しています。また算定条件に該当すれば摂食機能療法を算定し、口腔ケア・嚥下間接訓練・適切な食形態や介助方法の検討を行っています。

2) 情報共有の強化
嚥下機能の情報を共有するために、言語聴覚士による嚥下評価後は嚥下の状態を電子カルテに記載するだけでなく、各ベッド上に配置している患者のコミュニケーションボード（図2）

図1 栄養管理計画書
栄養管理計画書（スクリーニング・評価） *一部抜粋

摂食嚥下障害	
☐ リスクなし	☐ I. 食事や水分でむせることがある ☐ II. 食べ物、飲み物が飲み込みにくくなっている ☐ III. 脳血管障害等の既往がある（パーキンソン病・ALS・進行性核上性麻痺等の神経疾患） ☐ 認知症がある ☐ 食事介助が必要である ☐ 嚥食がある（上・下・嚥入れ嚥・部分）
上記に ☒ が1つ以上ある時は、看護計画を立案する	
上記に ☒ が1つ以上ある時は、「B」と判定→下記「摂食機能療法」のチェックを主治医へ依頼	
上記に ☒ がI・II・IIIに1つでもある時は→下記「摂食機能療法」のチェックを主治医へ依頼、STへ相談	

【他部署への依頼等】（主治医記載欄）	
NSTの介入	☐ 不要 ☐ 希望（下記より選択して下さい） ☐ 食餌・経管の内容を検討 ☐ 栄養経路の検討 ☐ その他 （NSTによる指示内容の変更： ☐ 可 ☐ 不可）
摂食機能療法	☐ 不要 ☐ 実施（「摂食機能療法計画・実施記録表」の発生） （上記「摂食・嚥下障害」 ☒ 特になし の場合は不要となる）

部屋・ベッド番号: 号室 更新日: 4月3日

				通夜欄 ・ギョウジシヨ30' ・金介助 ・中園組 ・食前・後 ・お願ひ等 ・人の無い状態 見れず
左 	右 			

5. SSTのメリット

チームメンバーが協力して、嚥下評価後に適切な食形態を提供したり摂取時の正しい食事姿勢をセッティングしたりすることで、食事の安全性が向上し、誤嚥のリスクが減少しました。安全に食べることは身体的な健康だけでなく、精神的な幸福感、ADLの向上や生活の質を向上させます。

スクリーニングを行った看護師・言語聴覚士が、口腔ケアの指導や評価を行うことで、患者

6. 今後の課題

7. おわりに

立ち上げてまだ僅か1年と手探りの日々ですが、SSTの活動が患者の摂食嚥下機能の回復や生活の質の向上に寄与していると考えています。これからも必要な情報をSSTから病院全体へ発信しながら課題解決やさらなる活動の質の向上を図っていききたいと思います。

初めての個別指導対応を通じて 見えた課題と学び

福岡県済生会福岡総合病院
医事課長 井上 芳枝

当院は2024年12月に5年ぶりとなる適時調査と、初めての個別指導を同時に受ける機会がありました。両者を同時に迎えるという緊張感のなかで、関係する部門と連携しながらカルテ記載やレセプトの確認、書類の整備、必要な情報の整理を進めました。

私は個別指導の担当として準備にあたりました。初めての対応ということもあり、不安も大きく慌ただしい日々を過ごしたことを思い出します。

適時調査では、施設基準の遵守状況、診療体制、人員配置、カルテの記載内容など、病院全体の体制が問われます。一方、個別指導では保険診療の算定や診療記録の内容を事前に指定されたレセプトごとに細かく確認され、特に以下の点が重点的に確認されました。

- ・診療行為とカルテ記載の整合性
- ・医学的根拠に基づく算定の妥当性
- ・実施日と算定日の一致
- ・チーム医療における職種間記録の一貫性

個別指導においては、関係診療科の医師と事前に打ち合わせを行いました。診療行為と算定内容の整合性や必要な記載がなされているかをレセプト1件1件と付け合わせて確認しました。どの記録が算定の根拠となるか、記載の考え方や医師の意図が確認できたことで理解が深まり、指導当日の対応にも大いに役立ちました。また、カルテ記載の場所や形式が医師ごと

に異なる点にも気づき、記録の把握や情報共有の重要性を再認識しました。

カルテは医師だけでなく、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士、ソーシャルワーカーなど、さまざまな職種が記録し参照します。診療報酬の正しい理解と算定のためには事務や医師だけでなく多職種の記録や関わり方についても意識する必要がある、「どこに、何を、どのように記載するか」について共通認識をし、情報共有に努めることでチーム医療としての連携をさらに高められると感じました。

個別指導の準備段階で気づいたカルテ記載の課題については、一部電子カルテの整備で対応できることが確認され現在進めているところです。

個別指導当日は主に医師と事務で対応しましたが、準備やその後の対応まで普段関わりの少ない職種を含め多くのスタッフと協同し臨めたことはとても有意義でした。今回の経験を通じて、日常の記録が第三者から見ても明確で一貫性があること、そして診療の実態と請求内容の整合性を常に意識するとの大切さを学びました。

今後も記録と請求の適正化に努め、日々の業務に活かしていきたいと考えています。

また、これから個別指導を控える医療機関の皆様にとって本稿が少しでも参考になれば幸いです。

アナログな生活

医療法人緑心会福岡保養院
作業療法士

原田 大輔

日曜日の昼下がり、どんな内容を寄稿しようかと考えています。そういえば、ここ数年シティポップという音楽ジャンルが再評価されています。山下達郎・竹内まりや・松原みき・八神純子（敬称略）等のアーティストの1970～80年代を中心にリリースされたアルバムが海外のDJに紹介されたり、カバー曲がTikTokで拡がりアジアを中心にブームに火が付き、その音源を求める外国人がレコード店に殺到するようになっていています。一時期よりは落ち着いたものの、ブーム前はアナログレコード店の店舗の片隅にエサ箱と言われる段ボールに50円～300円程度の在庫処分的な扱いをされていた物が急に価値が上がり、物によればウン万円の値が付くほどとなっていました。その流れで、シティポップブームに併せてアナログレコードも再評価されブームとなっています。ここ数年、音源はCDから配信が主流となり、フィジカルとしての音源は無くなる勢いでしたが、アナログブームのおかげで発売される音源はアナログレコードと配信というパターンが主流となってきました。レコード盤を制作する数少ない工場はフル稼働だそうです。

それはさておき、アナログレコードの何が良いのでしょうか？一般的にはあのパチパチしたノイズや黒い円盤やドーナツ型の形状にノスタルジックを感じるとよく言われます。音質的にはCDとアナログレコードの違いはCDの場合、記録する場合に可聴域の周波数で記録し、非可聴域の高域・低域はカットされ記憶されます。デジタル処理もされていて音もクリアです。アナログレコードの場合は音の振動をそのままレ

コード盤に刻み込んでいきますので、非可聴域もそのまま記録されることになります。CDはデジタル信号の集まりなので、突き詰めていくと非連続的な信号の集合体、音の波形も滑らかではありません。アナログは連続性のある波形も自然な記録物となります。アナログ盤の音がノイズはあってもより自然に近い音で人が聴き、また空気の振動を自然に肌で感じるができるのではないかと思います。私の感覚ではアナログ盤の音には芯があると感じます。だから、最近のアナログブームで聴き始めた若い人が、レコードにはまっていくのは、アナログ特有の音の良さを感覚として感じているのではないかと思います。もちろんデジタルの良さもあります。情報として整理しやすい、音源も配信であればコンパクトなプレーヤーやスマホに大量にストックできます。音質もよりアナログの波形に近づいています。私も運転の際のBGMはデジタルで配信される全国のラジオの放送をプレーヤーにストックし聴いています。便利な世の中です。

私は普段、精神科作業療法に従事しています。作業療法の中にもアナログ的なもの、デジタル的なものがあると思います。元来のアート（創作）、音楽、園芸療法、または院外活動などは、どちらかと言えばアナログ的なものだと思います。また、治療ツールとしてPCやデジタル音源。インターネット配信を使ったプログラムやマニュアル化されたプログラムも増えています。そのようなものはデジタル的なもので非常に便利で、誰もが使いやすいものとなっています。こんな事がコロナ禍にありました。院

外活動は休止となり、近所の神社への初詣もできませんでした。そこで、画像をプロジェクターで映し初詣的な事を病棟ホールで実施しました。季節的な行事をこんな形で再現できるのは便利だなと思う反面、でもやっぱり実際に行って厳かな雰囲気、神社特有のしっとりとした空気感や香りなど、実際に出向いて肌で感じないとやっぱり物足りないなと思いました。他のプログラムでも、自分自身で描いたり、鑑賞したり、自然に触れるなど五感で感じる事が人間には必要だと思います。オーディオもそうですが、アナログの取り扱いは、その人のセンス

や経験も問われるし、デジタルと比べるといちいち手間がかかります。しかし、その手間や無駄と思われるような事が治療としての意味があるかと思います。もちろんデジタル的なツール（プログラム）も併用します。最近は、アートや音楽療法の不要論も耳にしますが、私は元来のアナログ的な治療を大事にしながらこれからも作業療法に従事していきたいと思っています。

さて、休日の時間も残り少なくなってきました、もう少し好きなアナログ盤を棚から一掴みし、音楽を聴きながらゆっくり過ごしたいと思っています。

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器機等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

看護 の窓

働きやすい職場づくり ～職員に寄り添うプロジェクト～

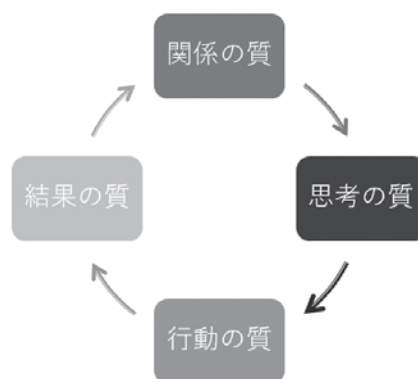
国立病院機構九州医療センター
看護部長 太田 恵子

令和7年4月1日付で国立病院機構九州医療センターの看護部長を拝命しました太田と申します。今回は九州医療センターでの職場環境改善における看護師長グループの取り組みについてご紹介いたします。

少子高齢化、生産年齢人口の減少にDX化の加速が止まりません。しかし医療・看護は人でなくてはできない仕事が多く、どの施設でも人材の確保に苦慮する現状ではないでしょうか。当施設でも毎年100名ほどの新採用者が入職し一見順調に人材確保ができていますが、令和2年度から5年度において、新採用看護職員の離職率が全国平均を上回る現状がありました。離職の要因となる背景として医療の高度化に伴う看護業務の煩雑化、感染対策重視による人間関係構築の困難さ等を問題視しました。そこで、組織の成功循環モデルの「関係の質」向上に着目し、お互いが尊重しあえる職場風土を醸成することで職員間のコミュニケーションの量と質の向上を図り、新採用看護職員の職場適応促進と離職率減少につなげたいと考えました。そして、2023年に看護師長を中心とした「職員に寄り添うプロジェクト」を発足し活動をスタートしました。組織の成功循環モデルとは、マサチューセッツ工科大学のダニエル・キム教授が提唱している理論（図1）です。成功の循環では、組織に所属するメンバー間の相互の「関係の質」が高まると、思考の質が高まり、それが行動の質に繋がって良い結果を生み出し、それによってメンバー相互間の信頼が深まり、さらに関係の質が向上するという循環のことです。この好循環が成功への原動力を高め、

組織に持続的な成長をもたらすとダニエル・キム教授は指摘しています。以下、具体的取り組み内容となります。

図1：組織の成功循環モデル



1. 2023年度の取り組み（図2）

管理者の意識変容と職員が互いをリスペクトし関係の質向上を図るための具体的取り組み

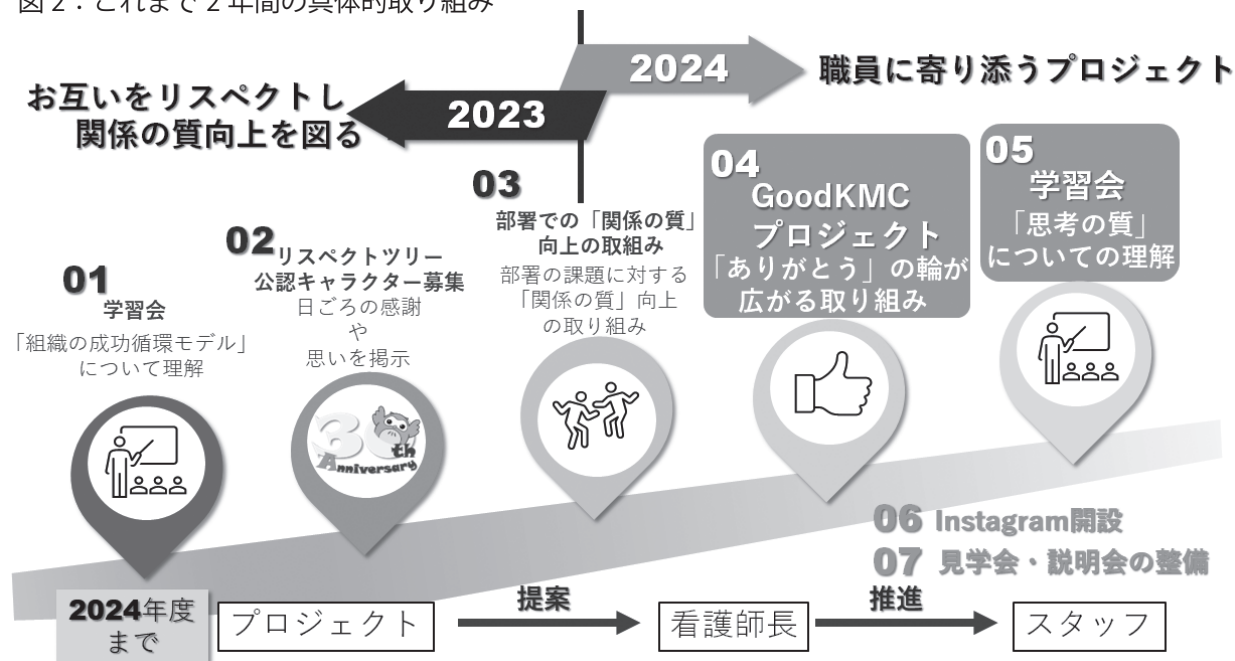
- ① 「成功循環モデル」の理解のために資料の配布・学習会の実施
- ② コミュニケーションの質・量の増加を目指し感謝や思いをリスペクトツリーに掲示
- ③ 職員の帰属意識を高め、職場の活性化を図る目的で、広報委員会とコラボレーションし、公認キャラクターの公募・承認

2. 2024年度の取り組み

働きやすい職場づくりと寄り添う看護を提供できる人材確保を目指した具体的取り組み

- ① 「ありがとう」の輪が広がる取り組み「一人ひとりがGood KMCプロジェクト」の実践
- ② 管理者同士の対話から自己のメンタルモデルに気付くことと、対話の中に新たな

図2：これまで2年間の具体的取り組み



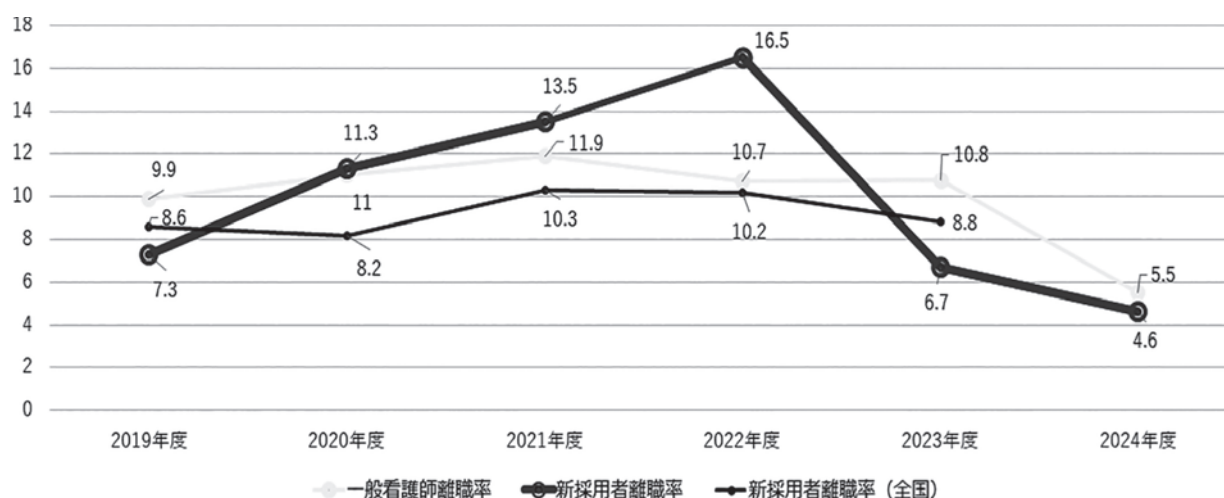
視点を創造できる思考の変化があることに気付くことをねらい「思考の質」についての学習会実施

- ③ 若い世代が求める視点の取り込みおよび新人看護師とのコミュニケーションの機会となることを意図してInstagramを開設し、新人看護師の帰属意識を高める効果につながることをねらい、メンバーに新人看護師を任命
- ④ 来訪者が求める内容を伝えられるよう病院見学会・説明会を工夫し企画・運営

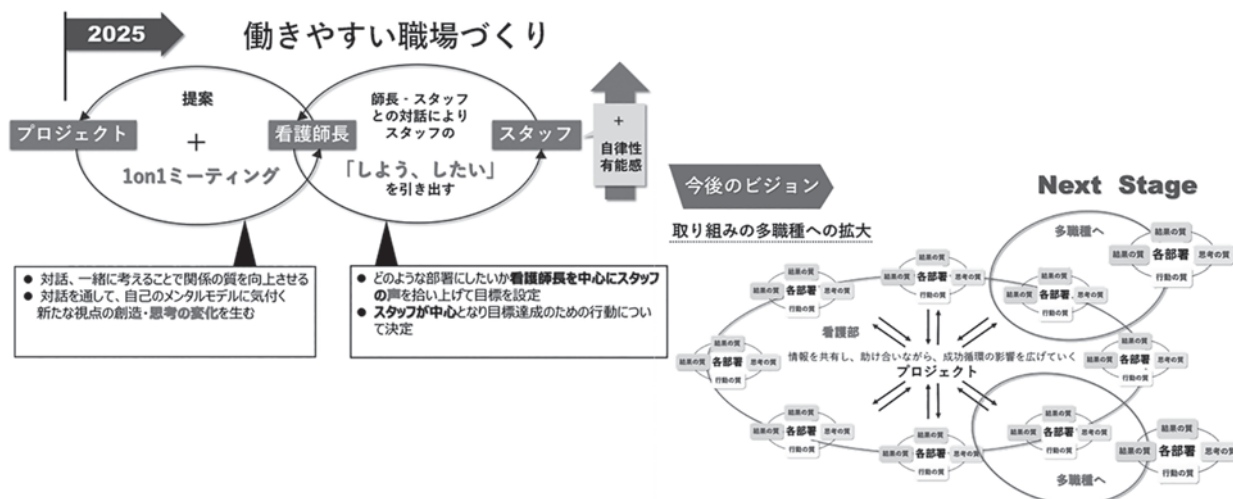
3. 2年間の取り組み効果

目的であった新採用者離職率が目に見えて減少しました（図3）。辞職の意思を撤回した者も複数いましたし、転職を選択した者や結婚・転居などのライフイベントで辞職を余儀なくされた者の中には「関係性が良いので本当は辞めたくないけど…」と言って辞めた者もいます。また、毎年実施しているストレスチェックでは上司・同僚との関係性についての項目で改善が見られます。私が目にした事象の一例ですが、今年度採用3週目の新採用者研修に全員が笑顔

図3：2019年度から2024年度までの離職率推移



主体でした。その場合、中には「やらされ感」を感じるスタッフがいる可能性を払拭できず、それでは関係の質が向上したとは言えないと考えました。そこで、今年度は「対話」をキーワードにスタッフ一人ひとりを大切にして「〇〇しよう、■■■したい」という思いを引き出すことで、職員の声を反映したより良い職場環境に近づける計画です（図4）。さらに、部門間の垣根も低くオープンマインドの根付いた病院であるという強みを生かし、看護部だけにとどまらず、多職種を巻き込み病院全職員を巻き込んだ取り組みにできるよう活動の拡大と継続を考えています。



人体旅行記 乳房（その二十八）

国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之

乳房という哺乳類特有の器官から分泌される母乳というものは、多種多様な生物の中でも珍しい産物です。もちろん哺乳類特有のもので、母乳で給餌する生物は哺乳類のみです。私たちは「哺乳類」の一員なのですが、その祖先は二億一千万年前に登場しました。最初の哺乳類は、まだ卵生で、この旅の五回目に登場したカモノハシに似たものでしたが、それから五千万年ほどを経て、胎生の哺乳類が登場します。その後有胎盤類と有袋類に分岐するという流れです。

どちらも母乳分泌にはプロラクチンというホルモンが関係します。有胎盤類では、プロラクチンが下垂体から分泌されると乳腺組織で母乳の産生が刺激されるのに対して、有袋類では仔が母親の乳頭を吸うと、その乳頭の乳腺だけにプロラクチン受容体が発現して、そこに血中にふだんから存在しているプロラクチンが結合して母乳が産生されるという違いがあります。乳汁の進化的起源については、乳腺の原型をもつ化石もなかったことから、かのダーウィンも頭を悩ませ、どのようにして乳腺と乳汁が進化してきたのかは謎です。現在では、乳汁の起源として当時卵生であった哺乳類の卵を守るため分泌された抗菌物質であったとする説¹⁾と、卵を乾燥から守るための分泌物であったとする説²⁾が唱えられています。前者の根拠は、母乳のラクトース合成の役割をもつ α -ラクトアルブミンが抗菌物質リゾチームと近縁関係にあるという事実に加え、プリン体の分解に関与するキサンチンオキシドレダクターゼという過酸化水素を発生させる酵素が、乳脂肪球を分泌する際に乳汁脂質の生成の役割を果たしているという事実があるからです。

このように乳汁の起源については諸説ありますが、それはさておき雄である男性は乳首を有しているものの哺乳することができません³⁾。日本政府の働きかけによって、これだけイクメンが増えてきたにもかかわらず、授乳に関して男性が代わってあげられるのは、粉末ミルクを適温の湯で溶いて哺乳瓶で飲ませてあげることまでです。しかし下垂体前葉の腺腫（プロラクチノーマ）によって、男性でも乳汁分泌が生じる例があるように、男性の乳腺組織もホルモンの非生理的な刺激があれば、まだ乳汁を分泌する能力を秘めています。男性の積極的育児参加が自然選択される有利な形質になるならば、遠い遠い将来男性も授乳するように進化するのかもしれませんが。というかこれほどの哺乳類の長い歴史の中で、逆にどうして雄も授乳できるように進化してこなかったのでしょうか。

- 1) Blackburn DG et al. (1989) The origins of lactation and the evolution of milk: a review with new hypotheses. *Mammal Review*; 19: 1-26.
- 2) Oftedal OT. (2012) The evolution of milk secretion and its ancient origins. *Animal*; 6: 355-368.
- 3) 乳首について言えば、有袋類やマウス、ラット、ウマの雄は進化の過程で乳首を早々に失っています。乳汁については、ダヤクフルーツコウモリ (*Dyacopterus spadiceus*) の雄は、野生状態で少量ながら乳汁を分泌することが知られていて、組織学的にも発達した乳腺組織と乳管が認められています。しかし量としては少なく実際の子の養育に雌同様に寄与しているかは疑問です。

医学・医療の歴史物語 その9 ～異色の科学者高峰讓吉

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園看護専門学校 顧問

イノベーターたちの日本史

令和5年（2023年）の3月号から「医学・医療の歴史物語」というシリーズの執筆を開始してから2年余の歳月が流れた。

ヒポクラテスから始まって、パレやビルロートなど外科学の発展に貢献してきた人達のエピソードを中心に執筆してきたが、日本人医学者については、2024年7月号で、「新千円札の顔、北里柴三郎」というタイトルの一文を書いたのみであった。この文章の中で、旧千円札の顔に採用されていた野口英世についても詳述したので、これまで本シリーズに登場した日本人医学者は北里、野口の二人だけということになる。この二人に知名度でははるかに劣るが、医学的業績では勝るとも劣らない人物が、本稿で御紹介する高峰讓吉ではないだろうか？

作家でかつ一橋大学特任教授でもある米倉誠一郎氏（1953年～）が、『イノベーターたちの日本史』（東洋経済新報社2017年刊）という著書の中で、タカジアスターゼとアドレナリンを発見した科学者でありながら日本人初の人造肥料会社を設立したり、アメリカで企業研究開発ベンチャーを創業したりした高峰讓吉について詳述されている。本稿では米倉氏の著書を参照しながら、北里や野口とはまた全く違った異色の科学者高峰讓吉について語らせていただく。

加賀藩校から大阪医学校、 そしてグラスゴー大学へ

高峰讓吉は1854年12月22日（嘉永7年11月3日）、越中高岡（現在の富山県高岡市）の町医者長の長男として出生した。父親の精一は京都や江

戸でオランダ医学を学んだ医師で、後に加賀藩のお抱え藩医にまで昇進した名医である。父親の昇進に伴い讓吉も幼少期に高岡から加賀藩の藩都金澤へ転居している。

讓吉は7歳の時に加賀藩が藩士の子弟に英才教育を施すために設立した明倫堂に入学、10歳の時に加賀藩が派遣する長崎留学生15人の中の最年少留学生として選抜されている。鎖国下の当時、長崎は海外の学問を学ぶことが出来る唯一の都市で、讓吉達は日本人通訳官の家やポルトガル領事館に住み込み、近習や小姓のような扱いを受けながら学問に励んだということである。

そして1868年、満13歳になった讓吉はこの長崎の地で、明治維新という大転換の年を迎えた。徳川幕藩体制の崩壊に伴い長崎から立ち退かざる得なくなった讓吉は、加賀藩出身の安達幸之助が京都に設立していた兵学塾に入塾、さらにその1年後には緒方洪庵が設立した適塾に入塾した。しかし緒方洪庵はすでに逝去しており、適塾は洪庵の次男惟準これよしが主宰していた。

1869年（明治2年）になって、讓吉は明治新政府が近代科学発展のための教育施設として設立した大阪舎密局おおさかせいみきょくに併設されていた大阪医学校に入学した。ここでは医学よりもドイツ人の科学者ヘルマン・リッター（Georg Hermann Ritter 1828年～1874年）の指導の下に、化学の勉強に没頭したようである。しかし1872年（明治5年）になって大阪舎密局が閉鎖に追い込まれてしまったため、讓吉は明治新政府によって新設された工部省工学寮に第1期生として入学することになったのである。

工部省とは、日本の産業構造を農業から工業へ転換させるために明治新政府が設立した最初の中

央省庁であり、工学寮はその人材養成のための教育機関であった。後に東京帝国大学工学部へと発展していった学校である。教育陣はイギリスから招聘された外国人教師達であった。

讓吉はこの工部省工学寮の応用化学科を首席で卒業、卒業時に海外留学生 11 名の中の 1 名に選抜され、1880 年（明治 13 年）にイギリスのグラスゴー大学へ出発した。留学中にイギリスの各種の工場に積極的に出入りして、イギリスの工業化を実体験している。外国留学中も医学の世界の中だけで過ごした北里や野口とは全く異なった道を歩いたのである。

アメリカ出張での大きな成果

イギリス留学によって化学の知識を実業化する手立てを体験的に学んだ高峰讓吉は、日本固有の原料を工業化することの重要性を強く認識、自らそれを実践すべく留学から帰った 1883 年（明治 16 年）、農商務省公務局勸工課に勤務することを決断した。「科学を生かせ！」というスローガンを口で唱えるだけでなく、自らが実行しているところが並みの科学者と違うところであろう。

農商務省勤務から 1 年余が経過した 1884 年（明治 17 年）、讓吉に新たな転機が訪れる。ニューオリンズで開催される万国博覧会へ長期派遣されることになったのである。1 年程度のアメリカ出張であったが、ここでも讓吉は並みの政府要員としては考えられないような精力的活動を行い大きな成果を挙げている。

そのひとつが燐鉱石と人造肥料との出会いである。イギリス留学中に人造肥料工場での実習経験があった讓吉は、サウス・カロライナ州から万博へ出品されていた燐鉱石に人造肥料商業化の可能性を見出したのである。博覧会終了後に自ら現地まで赴き、約 10 トンの原鉱石や燐肥を自費で買い付けている。並みの公務員では考えられないような桁外れの行動力と言えよう。

しかし何と言っても最大の成果はキャロライン・ヒッチ（Caroline Field Hitch 1866 年～1954 年）との恋物語であろう。讓吉はニューオリンズで招かれたヒッチ家のパーティでその家の

娘キャロラインと出会い恋に落ちた。しかも短期間の間に婚約までしてしまったのである。キャロラインは 18 歳、「碧眼、栗毛のアメリカ南部娘らしい美少女」で、讓吉は 30 歳であった。讓吉が熱く語る人造肥料の話に母親のメアリーが惚れ込んでしまい、強く後押しした結果であるとも言われている。

人造肥料会社の設立に向けて

1885 年（明治 18 年）9 月、帰国した高峰讓吉は人造肥料会社設立に向けて奔走し始める。澁澤栄一国立第一銀行頭取（1840 年～1931 年、1 万円札の顔でお馴染みである）や三井物産社長の益田孝（1848 年～1938 年）に対して、人造肥料の重要性を熱く語って廻ったのである。澁澤が残した次のような手記が残っている。

高峰は人造肥料の必要性について、その専攻せる理化学より詳細な説明を加え、欧米の実例を挙げわが国の肥料の改良すべき点を力説せり。（中略）先生の意すこぶる動き、帰京の後益田孝、大倉喜八郎、浅野総一郎らと共に謀し、（中略）ついに会社創立の事を決したり。

讓吉が「先生」と呼ばれており、当時の一流財界人からすでに学者として認められていたこともこの澁澤の手記からよく読み取れるが、実業家としての讓吉の一面をよく表現している文章でもあらう。

1887 年（明治 20 年）、人造肥料製造機買い付けのため益田と共にヨーロッパに渡った讓吉は、パリで益田と別れてアメリカに渡り、ニューオリンズでキャロラインとの結婚式を挙行了たのである。

讓吉達帰国後の 1887 年（明治 20 年）12 月、東京人造肥料会社が正式に設立され製造工場が深川に建設された。讓吉はこの段階で農商務省を退官し、キャロラインと共に工場近くに新居を構えて人造肥料の製造に従事することになる。キャロラインが日本に滞在したのは 3 年間余という短い期間であったが、肥料工場からの悪臭漂う日本家屋に住みながら 2 人の子供を出産している。その苦労が大変なものであったろうことは想像に難くない。キャ

ロラインは以下のような手記を残している。

桜花美しく、雅やかな茶道の国がこれほどまでに住み心地が悪いとは。冬の寒さといったら身を切るようでした。（中略）夏になると暑さで息が詰まりそうで、おまけに蚊の襲来です。上下水道の設備はほんの原始的なものにすぎません。そのうえ個人のプライバシーなどは無きに等しい状況でした。

再渡米と澁澤栄一の非難

1890年（明治23年）、悪臭漂う肥料製造工場で頑張っていた譲吉の下に、キャロラインの母メアリーから「アメリカのウィスキー・トラスト社が人造ウィスキー製造の研究を譲吉に依頼したいと考えている」という知らせが届いた。譲吉は人造肥料研究の傍ら、米麴を使ったアルコール醸造の研究も進めていたのである。

アメリカ中西部のウィスキーの独占企業に譲吉の業績を売り込んでいたメアリーは、ウィスキー・トラスト社の反応に手応えを感じ、譲吉による直接交渉の必要性から「至急渡米されたし」という電報を打電してきたのであった。

確かに譲吉にとっては魅力ある話であるが、問題は創業してまだ3年も経たない人造肥料会社の経営から「言い出しっぺの譲吉」が身を引くことが出来るかということであった。譲吉からの退職願いの呈出を受けて、「信義を欠く行為である」と怒り心頭に発して反対したのは会社設立発起人となっていた澁澤栄一であった。しかし譲吉の新しい研究に対する情熱は火と燃え、益田孝の仲介もあって澁澤もしぶしぶ矛を収め、1891年（明治24年）11月、譲吉一家はアメリカに旅立ったのである。

人造肥料会社は譲吉の助手達に引き継がれて運営されたが、後年日本最大の肥料会社となった大日本人造肥料会社（現在の日産化学株式会社の前身）に成長している。

ジアスターゼの発見

高峰譲吉をアメリカへ招聘したウィスキー・トラスト社はイリノイ州ピオリアに本拠を置き、ウ

ィスキー原液の80%を全米に供給する独占企業であった。同社は譲吉の米麴を利用した度数の高いアルコール発酵の研究に興味を示したのである。これには義母メアリーのセールストークも大いに貢献したと考えられている。

譲吉は京都の日本酒醸造職人（杜氏）を助手に採用して一緒にアメリカに移住した。研究は順調に進んでいたのであるが、1893年に実験場が全焼するという大事故が発生した。譲吉の研究が完成すると職を失うことになるかも知れないという恐怖感を抱いていた古くからの製造業者による放火によるものだったのではないかとされている。さらにこれに追い打ちをかけたのが1890年に成立したシャーマン反トラスト法である。この法律の成立によって独占企業体であったウィスキー・トラスト社自体が解散に追い込まれてしまったのである。

しかし譲吉にとっては、会社解散よりも遥かに重要な収穫がひとつあった。アルコール発酵プロセス研究の過程で、でんぶん消化を劇的に早める新しい酵素ジアスターゼ（アミラーゼとも呼称される）を発見したのである。まだ酵素に関する科学的知識がなかった時代のことであるから、真に画期的なことであった。譲吉はこの酵素を、ギリシャ語の強いという意味である「タカ」を付けて「タカジアスターゼ」と命名した。「高峰のタカ」という意味合いがあったことも間違いないであろう。

ウィスキー製造が火災で頓挫する中、1894年（明治27年）譲吉はタカジアスターゼの特許申請をアメリカで行い、さらに研究開発に特化したタカミネ・ファーマメント・カンパニーなる会社を設立した。譲吉はデトロイトに本社を置く当時全米最大の製薬会社パーク・デイビス社（現在のファイザー社の前身）とタカミネ・ファースト・カンパニーを通じて消化薬の共同開発に乗り出し、タカジアスターゼは高性能消化薬として商品化されていくのである。

アドレナリンの発見

タカジアスターゼの開発、販売で味をしめたパーク・デイビス社は、次に当時の医薬品業界で

切望されていた副腎抽出液の製造を讓吉に委託した。1890年代の世界の医学界では、副腎抽出液が持つ強い止血作用に関心が集まっていたのであるが、実験動物の副腎を搗り潰して得られる抽出液には不純物が多く含まれ、医薬品としては使用できなかったのである。

しかし発酵系の研究を得意としていた讓吉にとってもこの研究は容易な仕事ではなく、試行錯誤のうちにあっという間に2年間の歳月が流れてしまった。このような状況下にあった1900年2月、讓吉は抽出技術に卓越した技術を持つ上中啓三（1876年～1960年）を研究助手として日本から呼び寄せたのである。上中は東京帝大医学部薬学科専科コースの出身で、東京衛生試験所で助手を務めている24歳の若手研究者であった。

上中が参加したことによって副腎抽出液の研究は極めて順調に進捗し、1年にも満たない短期間で結晶分離に成功した。上中が残した実験ノートには、1900年11月7日付の記述で「新結晶体には高峰博士友人のドクトル・ウィルソン氏の提案により、アドレナリンと命名す」とあり、11月15日付の日付で「次はパーク・デイビス社にて工業的に製造するはずなり」と書かれている。

讓吉は1900年11月5日にアメリカでアドレナリンの特許を出願し、翌年1月にはイギリスでも特許出願を果たしている。しかし出願は高峰讓吉単独名でなされ、そこには上中啓三の名前は記されていない。

讓吉は1901年9月にセントルイスで行った全米薬業協会総会における講演では、「この興味深い研究の達成においては、評価の大きな部分を同僚の上中氏の精力的で有能な協力によっていることに感謝を送りたい」と謝辞を述べていたが、それ以後はアドレナリン発見における上中の貢献を意識的に消し去っていると考えられるということである。論文あるいは共同研究における助手達の貢献に対する明確な表記が未確立であった当時の事情はあるにせよ、この隠蔽は讓吉のアドレナリン発見に不透明な部分を残し、盗用説を生む原因ともなっているようである。

企業家そして無冠の外交官

アドレナリンの発見に至る経緯はともかくとして、タカジアスターゼとアドレナリンの成功によって高峰讓吉は学会の寵児となった。タカジアスターゼについては、澁澤や益田らの出資を仰いで、三共株式会社（現在の第一三共株式会社の前身）を設立し、讓吉は在米のまま社長に就任し国産を開始している。

その一方では日米関係の改善のための政治活動にも力を尽くしている。当時の欧米では、日清戦争（1894年7月開戦、1895年4月終戦）、日露戦争（1904年2月開戦、1905年9月終戦）に勝利した日本に対し、「日本排斥、黄禍論」が台頭していたのである。当時のジャーナリスト達は「高峰博士は学者であり、企業家であり、しかも無冠の外交官である」と讓吉のことを表現しているが、この評価は決して大袈裟なものではなかった。

讓吉は欧米の基礎研究の上に日本の工業が形成されている当時の状況に対しても、大きな危機感を抱いていた。日本の工業が発展して欧米のそれを圧迫するようになると、欧米の諸機関が日本に対し基礎研究を提供することを拒むようになるのではないかと考えていたのである。

そこで讓吉は日本人研究者の育成のために「基金1000万円規模の国民的化学研究所を設立することが急務である」と熱心に提唱して廻った。当時の1000万円といえば、最新鋭の軍艦が購入できる金額であった。澁澤を筆頭に多くの財界人がこの提案に賛同して時の総理大臣大隈重信まで動かし、1917年（大正6年）財団法人理化学研究所が設立された。

讓吉は理化研理事に就任したもののそのままアメリカに留まり、ニューヨーク郊外の広大な別荘を拠点に黄禍論で悪化した日米関係の修復に努めていたが、1922年（大正11年）7月22日心疾患？のためついに帰らぬ人となってしまった。享年69であった。

◎ 監 査

日 時 5月13日(火) 午後3時30分〈校長室〉
 監査事項 1. 令和6年度事業報告
 2. 令和6年度計算書類
 3. 令和6年度公益目的支出計画実施報告

◎ 令和7年度 第2回理事会

日 時 5月13日(火) 午後4時〈会議室〉
 議 題 1. 会長あいさつ
 2. 協議事項
 (1) 会員異動について
 (2) 研修会について
 (3) 地域医療構想について
 (4) 令和6年度事業報告(案)について
 (5) 令和6年度決算(案)について
 (6) 令和6年度公益目的支出計画実施報告(案)について
 (7) 第12回定時総会について
 (8) 「福岡県感染症対策連携協議会及び医療専門部会」委員の推薦について
 3. 会議報告
 4. 報告事項
 (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病、日慢協、日医法人協会連絡 (5) その他

◎ 事務長会運営委員会

日 時 5月15日(木) 午後3時〈会議室〉
 議 題 1. 協議事項
 (1) 人件費関係について
 (2) 各種手当について
 (3) 9月研修会企画について
 2. 報告事項

◎ 第12回定時総会

日 時 5月30日(金) 午後3時50分〈ホテルオークラ〉
 1. 会長あいさつ
 2. 議事
 報告事項1 令和6年度事業報告
 第1号議案 令和6年度計算書類承認の件
 報告事項2 令和6年度公益目的支出計画実施報告
 報告事項3 令和7年度事業計画について
 報告事項4 令和7年度予算について

◎ 5月総会講演会〈参加数 74名〉

日 時 5月30日(金) 午後4時40分

〈ホテルオークラ福岡〉

演 題 「高齢者救急の担い手としての在支病と地域包括医療病棟について」
 講 師 (一社) 日本医療法人協会副会長・日本在宅支援病院連絡協議会会長
 (医) 博仁会志村大宮病院
 理事長兼院長 鈴木 邦彦 氏

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 6月6日(金) 午後3時〈会議室〉
 議 題 1. 協議事項
 (1) 11月研修会企画案について
 (2) 生産年齢人口が減少していく中での人財確保の課題について
 (3) 採用後の定着率の維持や向上を目的とした人材育成、福利厚生取り組み等について
 (4) 看護補助者との連携、教育、看護師への周知について
 2. 報告事項

◎ 広報委員会

日 時 6月10日(火) 午後3時45分〈事務室〉
 議 題 1. 福私病ニュースの編集について

◎ 令和7年度 第3回理事会

日 時 6月10日(火) 午後4時〈会議室〉
 議 題 1. 会長あいさつ
 2. 協議事項
 (1) 会員異動について
 (2) 研修会について
 (3) 地域医療構想について
 (4) 職員の賞与について
 3. 会議報告
 4. 報告事項
 (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病、日慢協、日医法人協会連絡 (5) その他

◎ 6月研修会〈参加数 78名〉

日 時 6月12日(木) 16時～18時
 〈電気ビル本館〉
 演 題 「日本の医療の今までと向かう先」
 講 師 日本医師会名誉会長
 社会医) 弘恵会ヨコクラ病院
 理事長 横倉 義武 氏

第97回 理事会報告

日 時 令和7年5月27日(火)16:00～16:37

場 所 福岡県中小企業振興センター 501号室
(福岡市博多区吉塚本町9-15)

出席者(敬称略)

会 長 中村

副会長 平

理 事 壁村専務理事、岩永総務理事、伊東財務
理事、大村、谷口(修)、谷口(雅)、津留、
中尾、本村、山下、横倉、渡邊、
計14名(理事総数22名)

監 事 野村、楠原

議 長 岡嶋

副議長 樋口

顧 問 河野

I 行政等からの通知文書

壁村専務理事から、特に報告等を要するものはな
いとの報告があった。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 令和7年度 第1回臨床検査委員会

谷口 雅彦担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年4月25日(金)16:30～

会 場 福岡市博多区博多駅中央街4-8
ユーコウビル 702会議室

議 題 1. 第9回臨床検査研修会報告
2. 第10回臨床検査研修会の開催
について

イ 第1回看護委員会

山下担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年4月28日(月)15:00～

場 所 福岡県中小企業振興センター
302B 会議室

議 題 1. 令和7年度研修計画について

ウ 第1回診療情報管理研究委員会

本村担当理事から、令和7年度診療場管理研
究研修会について、グループワーク研修会3
回の開催計画と併せて説明があった。

日 時 令和7年5月2日(金)15:00～

場 所 WEB 開催

議 題 1. 令和7年度研修計画について

エ 第1回栄養管理委員会

岩永担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年5月13日(火)14:00～

場 所 TKP 博多駅筑紫口ビジネスセン
ター 302 会議室

議 題

1. 委員の交代について
2. 第72回栄養管理研修会の反省
3. 令和7年度研修計画について

【開催予定】

ア 第1回病院委員会

壁村委員長から、説明があった。

日 時 令和7年5月29日(木)15:00～

場 所 TKP 博多駅筑紫口
ビジネスセンター 804 会議室

議 題

1. 第9回病院研修会の反省
2. 第10回病院研修会計画について

イ 第173回看護研修会

山下担当理事から、説明があった。

日時等 令和7年6月27日(金)

13:25～15:45 WEB 開催

令和7年6月28日(土)～

7月7日(月)オンデマンド配信

講 演 「現場力を高める

組織マネジメント」

講 師 ポテンシャルビジョン

代表 山本 武史

III 収益目的事業、法人関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

- ア ほすびたる編集委員会
岡嶋編集委員長から、報告があった。
- 日 時 令和7年5月12日(月)17:45
場 所 福岡県医師会館 2F 事務局
(ほすびたる編集委員会はハイブリッド)
- 議 題 1. 5月号発刊について
2. 7月号、9月号の編集計画について
3. 令和7年暑中見舞広告について

【開催予定】

- ア 第1回経営管理委員会
津留担当理事から、説明があった。
- 日 時 令和7年6月23日(月)13:30～
場 所 日本光電工業(株)九州支店 福岡事業所
博多イーストテラス 6F カンファレンス
スルーム
- 議 題
1. 令和6年度第1回経営管理研究会の報告
2. 令和7年度第1回経営管理研究会の開催
について
- (2) 第96回理事会議事録(案)について
壁村専務理事から、中村会長、野村・楠原両
監事の下承をもらっているとの説明があり、
承認された。
- (3) 令和6年度臨時会員総会議事録について
壁村専務理事から、岡嶋議長、谷口(修)・
中尾両議事録署名人の下承をもらっているとの
説明があり、承認された。
- (4) 3月、4月の収支報告について
伊東財務理事から、報告があった。

(5) 退会届について

会員名・病院名	病院所在地	退会年月日	退会理由
武田 誠司 院長 医療法人白翠園 春日病院	福岡市西区	R7.3.31	諸般の事情 により

(6) 会員変更について

学校法人福岡学園福岡歯科大学医科歯科総合
病院(福岡市早良区)
坂上 竜次 前病院長 → 鳥巢 浩幸 病院長
医療法人碧水会門司田野浦病院(北九州市門
司区)
後藤 貞夫 前病院長 → 奥野 丈夫 病院長
社会医療法人天神会 古賀病院 21(久留米市)
宮川 洋介 前病院長 → 二之宮 謙一 病院長
公立学校共済組合九州中央病院(福岡市南区)
前原 喜彦 前病院長 → 北園 孝成 病院長
壁村専務理事から、報告があった。

- (7) 福岡県医療対策協議会委員の推薦について
壁村専務理事から、本年5月11日で任期満
了(2年間)のため、委員の推薦依頼があっ
たもので、五役会で協議し、引き続き壁村専
務理事を推薦したとの報告があった。
- (8) 福岡県感染症対策連携協議会等委員の推薦
壁村専務理事から、本年5月22日で任期満
了(2年間)のため、委員の推薦依頼があっ
たもので、五役会で協議し、協議会委員に平
副会長を、医療専門部会委に渡邊理事を引き
続き推薦したと報告があった。
- (9) 第52回新採用薬剤師教育研修会への講師派遣
壁村専務理事から、五役会で協議し、昨年度
に続き岩崎理事を推薦することを決定。岩崎
理事の承諾を得て、福岡県病院薬剤師会に回
答したと報告があった。

2 協議事項

- (1) 定時会員総会の日時及び場所並びに議事に付
すべき事項について
壁村専務理事から説明があり、次のとおり決
定された。
1. 日 時 令和7年6月24日(火)
17:00～
2. 場 所 ANA クラウンプラザホテル
3. 議事に付すべき事項

- 第1号議案 令和6年度 福岡県病院協会
事業報告について
- 第2号議案 令和6年度 福岡県病院協会
収支決算について
- 第3号議案 参与の委嘱について

- エ 第173回看護研修会
日時等 令和7年6月27日(金)
13:25～15:45 WEB開催
令和7年6月28日(土)～7月7日(月)
オンデマンド配信

(2) 定時会員総会議案について

- ・第1号議案：令和6年度事業報告について
壁村専務理事から説明があり、承認された。
- ・第2号議案：令和6年度収支決算について
伊東財務理事から収支決算について説明
後、野村監事から監査報告が行われた。
承認された。

(3) 令和7年7月

- ア ほすびたる編集委員会・五役会
日 時 令和7年7月8日(火)
① 17:45～ほすびたる編集委員会
② 18:00～五役会
場 所 福岡県医師会館事務局（ほすびたる編
集委員会はハイブリッド）

3 行事予定

壁村専務理事から、説明があった。

(1) 令和7年5月

- ア 第1回病院委員会
日 時 令和7年5月29日(木)15:00～
場 所 TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター
804会議室

(2) 令和7年6月

- ア 五役会
日 時 令和7年6月10日(火)8:00～
場 所 福岡県医師会館事務局
- イ 第1回経営管理委員会
日 時 令和7年6月23日(月)13:30～
場 所 日本光電工業(株)九州支店福岡事業所
博多イーストテラス 6F
カンファレンスルーム

ウ 第98回理事会・第13回定時会員総会

- 日 時 令和7年6月24日(火)
① 16:30～理 事 会
② 17:00～定時会員総会
※定時会員総会後に、懇親会
場 所 ANA クラウンプラザホテル
(福岡市博多区博多駅前3丁目3番3号)

第98回 理事会報告

- 日 時 令和7年6月24日(火)16:30～16:50
場 所 ANA クラウンプラザホテル
(福岡市博多区博多駅前3丁目3番3号)
出席者(敬称略)
会 長 中村
副会長 平、野村、三浦
理 事 壁村専務理事、岩永総務理事、伊東財務
理事、岩崎、大村、志波、谷口(修)、
谷口(雅)、松浦、本村、山下、横倉、
渡邊 計17名(理事総数22名)
監 事 野村、楠原
議 長 岡嶋
副議長 樋口
顧 問 河野

I 行政等からの通知文書

壁村専務理事から、特に報告等を要するものはな
いとの報告があった。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

- (1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

- ア 第1回病院委員会

壁村委員長から、報告があった。

日 時 令和7年5月29日(木)15:00～

会 場 TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター 804 会議室

議 題 1. 第9回病院研修会の反省
2. 第10回病院研修会計画について

イ 第1回リハビリテーション委員会

横倉担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年6月18日(月)16:30～

場 所 ユーコービル9F 903 会議室

議 題 1. 委員長の交代について
2. 令和6年度第2回リハビリテーション委員会・研修会報告
3. 令和7年度研修計画について
4. 次回委員会の開催日について

ウ 令和7年度診療情報管理研究研修会 第1回グループワーク

本村担当理事から、説明があった。

日 時 令和7年6月24日(火)
14:00～17:00

場 所 九州大学医学部百年講堂 会議室

内 容 各医療機関の診療情報管理の担当者を対象とし、複数のグループにわけ、悩み・課題を経験含めて解決策を検討・議論する。
診療録全般、適時調査、病院機能評価、診療録監査、院内がん登録情報二次利用、医事と診療情報(DPC 含む)、電子カルテ

【開催予定】

ア 第173回看護研修会

山下担当理事から、説明があった。

日 時 令和7年6月27日(金)

13:25～15:45 WEB 開催

場 所 TKP 博多駅筑紫口
ビジネスセンター 804 会議室

議 題 1. 第9回病院研修会の反省
2. 第10回病院研修会計画について

イ 第173回看護研修会

山下担当理事から、説明があった。

日時等 令和7年6月27日(金)

13:25～15:45 WEB 開催

令和7年6月28日(土)～7月7日(月) オンデマンド配信

講 演 「現場力を高める組織マネジメント」

講 師 ポテンシャルビジョン

代表 山本 武史

Ⅲ 収益目的事業、法人関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第1回経営管理委員会

松浦担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年6月23日(月)13:30～

場 所 日本光電工業(株) 九州支店 福岡事業所
博多イーストテラス 6F カンファレンスルーム

議 題 1. 令和6年度第1回経営管理研究会の報告
2. 令和7年度第1回経営管理研究会の開催について

【開催予定】

ア 第1回医療事務委員会

伊東担当理事から、説明があった。

日 時 令和7年6月30日(月)17:00～

場 所 アーバンネット博多ビル4F 第一会議室

議 題 1. 委員の交代について
2. 委員長の選任について
3. 第124回医療事務研究会報告
4. 令和7年度研究会の開催について

イ ほすびたる編集委員会

岡嶋編集委員長から、説明があった。

日 時 令和7年7月8日(火)17:45～

場 所 福岡県医師会館2F 事務局 (ほすびたる編集委員会はハイブリッド)

議 題 1. 9月号の現況について

2. 11月号編集計画について（16回県民
公開医療シンポジウム特集号）

3. その他

(2) 第97回理事会議事録（案）について

壁村専務理事から、中村会長、野村・楠原両
監事の承諾をもらっていると説明があり、承
認された。

(3) 5月の収支報告について

伊東財務理事から、報告があった。

(4) 会員変更について

社会医療法人北九州病院（古賀市）

橋爪 誠 前院長 → 宮崎 正之 院長

医療法人溝口外科整形外科病院（福岡市中央区）

小島 哲夫 前院長 → 小川 光 院長

医療法人山水会香椎療養所（福岡市東区）

早淵 雅樹 前院長 → 加藤 泰裕 院長

遠賀中間医師会おかがき病院（遠賀郡岡垣町）

末廣 剛敏 前院長 → 桑野 博行 院長

遠賀中間医師会おなが病院（遠賀郡遠賀町）

杉町 圭蔵 前管理者 → 末廣剛敏 管理者

壁村専務理事から、報告があった。

(5) 令和7年度こころの健康づくり大会の後援に
ついて

壁村専務理事から、福岡県から後援依頼があっ
たもので、例年後援をしている。五役会で協
議し、後援を許可したとの報告があった。

(6) 第16回県民公開医療シンポジウムについて

岩永運営委員長から開催概要について以下の
通り説明があった。

日 時 令和7年9月27日（土）14：00～16：00

会 場 アクロス福岡 国際会議場

（福岡市中央区天神）

テーマ 健康で長生きするためのヒント

～あなたの体力、睡眠、そして肺の
予防は？～

講 演 3本（① フレイル、② 良い睡眠、
③ 肺炎とその予防）

2 協議事項

(1) 定時会員総会第3号議案「参与の委嘱について」

壁村専務理事から、本年6月で任期満了を迎
える参与について、各団体から新たに推薦が
あった新任3名、再任6名に委嘱したいと説
明があり、承認された。

3 行事予定

壁村専務理事から、説明があった。

(1) 令和7年6月

ア 第173回看護研修会

日 時 令和7年6月27日（金）

13：25～15：45 WEB開催

令和7年6月28日（土）～7月7日（月）

オンデマンド配信

イ 第1回医療事務委員会

日 時 令和7年6月30日（月）17：00

場 所 アーバンネット博多ビル4F 第一会議室

(2) 令和7年7月

ア ほすぴたる編集委員会・五役会

日 時 令和7年7月8日（火）

① 17：45～ほすぴたる編集委員会

② 18：00～五役会

場 所 福岡県医師会館事務局（ほすぴたる編
集委員会はハイブリッド）

(3) 令和7年8月

ア 五役会・納涼会

日 時 令和7年8月26日（火）

① 18：00～五役会

② 18：30～納涼会

場 所 割烹よし田

暑中お見舞い 申し上げます

掲載は受付順にさせていただきました。



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 中 村 雅 史

〒 812-8582
福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008
URL <https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



福岡大学病院
Fukuoka University Hospital

病院長 三 浦 伸一郎

〒 814-0180
福岡市城南区七隈七丁目 45 番 1 号
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200
URL <https://www.hop.fukuoka-u.ac.jp>



久留米大学病院
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 野 村 政 壽

〒 830-0011
福岡県久留米市旭町 67 番地
電話 (0942)35-3311 FAX (0942)32-6278
URL <https://www.hosp.kurume-u.ac.jp>
E-mail kanrika@kurume-u.ac.jp



産業医科大学病院
Hospital of the University of Occupational and Environmental Health, Japan

病院長 田 中 文 啓

〒 807-8556
北九州市八幡西区医生ヶ丘 1 番 1 号
電話 (093)603-1611(代) FAX (093)691-8892
URL <https://www.uoeh-u.ac.jp/hospital.html>

医療法人 **原三信病院**
Harasanshin Hospital

理事長 **平 祐 二**
院長 **原 直 彦**

〒812-0033
福岡市博多区大博町1番8号
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp/>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
福岡県済生会二日市病院

院長 **壁 村 哲 平**

〒818-8516
福岡県筑紫野市湯町三丁目13番1号
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210
URL <https://www.saiseikai-futsukaichi.org>



社会福祉法人
バプテスト心身障害児(者)を守る会
久山療育園重症児者医療療育センター

理事長 **宮 崎 信 義**
センター長 **岩 永 知 秋**

〒811-2501
福岡県糟屋郡久山町大字久原1869
電話 (092)976-2281
FAX (092)976-2172

求人情報はこちらから→



福岡赤十字病院

日本赤十字社

院長 **中 房 祐 司**

〒815-8555
福岡市南区大楠3丁目1番1号
電話(0570)03-1211 FAX(092)522-3066
URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>



社会医療法人水光会
宗像水光会総合病院
MUNAKATA SUIKOKAI GENERAL HOSPITAL

理事長 **津 留 英 智**
院長 **田 山 慶一郎**

〒811-3298
福岡県福津市日蔭野5丁目7番地の1
電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981
URL <https://www.suikokai.or.jp>



医療法人 誠心会
井上病院

理事長 院長 **井 上 健**

〒819-1104
福岡県糸島市波多江699番地1
電話 (092)322-3437 FAX (092)322-5806
URL <https://www.sih.or.jp>
E-mail inouehospital@sih.or.jp



古賀病院グループ

理事長 古賀伸彦

〒830-8577
福岡県久留米市天神町120
電話 (0942)38-2222 FAX (0942)38-2255
URL <https://www.tenjinkai.or.jp>

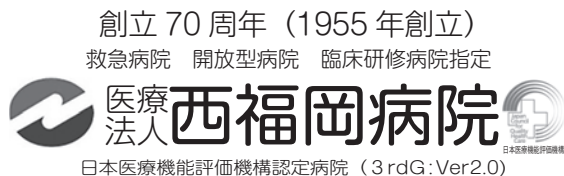


国家公務員共済組合連合会

新小倉病院

病院長 塚本浩

〒803-8505
北九州市小倉北区金田1丁目3番1号
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
URL <https://shin-kokura.or.jp>
E-mail kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp



理事長 安藤文英
院長 渡邊憲太郎

〒819-8555 福岡市西区生の松原3丁目18番8号
TEL.092-881-1331 FAX.092-881-1333
URL <https://www.nishifukuhp.or.jp>
Mail jim@nishifukuhp.or.jp



医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 江頭啓介
院長 江頭省吾

〒814-0143
福岡市城南区南片江6丁目2番32号
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570
URL <http://www.sakurahp.or.jp>



理事長 中尾一久
院長 永田剛

〒830-0054
久留米市藤光町965番地2
電話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535
URL <https://www.kyueikai.jp>
E-mail kouradai-web@kyueikai.jp



院長 本村健太

〒820-8505
飯塚市芳雄町3-83
電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744
URL <https://aih-net.com>



福岡県立精神医療センター

太宰府病院

Fukuoka Prefectural Psychiatric Center Dazaifu Hosupital

院長 小嶋 享二

〒 818-0125

福岡県太宰府市五条3丁目8番1号

電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060

URL <https://www.dazaifu-hsp.jp/>

E-mail info@dazaifu-hsp.jp



地域医療支援病院

糸島医師会病院

ITOSHIMA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

病院長 富田 昌良

〒 819-1112

福岡県糸島市浦志532番地1

電話 (092)322-3631 FAX (092)322-1206

URL <https://itomedhp.jp>



福岡ハートネット病院

FUKUOKA HEARTNET HOSPITAL

病院長 樋口 雅則

〒 819-0002

福岡市西区姪の浜2丁目2-50

電話 (092)882-0143

FAX (092)883-8761

当院のホームページ



福岡大学西新病院

Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 山本 卓明

〒 814-8522

福岡市早良区祖原15番7号

電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398

URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



医療法人 佐田厚生会

佐田病院

SADA HOSPITAL

理事長 佐田 正之

院長 佐田 政史

〒 810-0004

福岡市中央区渡辺通2丁目4番28号

電話 (092)781-6381 FAX (092)724-9411

URL <https://www.sada.or.jp>

E-mail info@sada.or.jp



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

病院長 堀内 孝彦

〒 812-0046

福岡市博多区吉塚本町13番1号

電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900

URL <https://shiminhp.fcho.jp>

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険 **田川病院**

院長 **黒松 肇**

〒 826-8585

福岡県田川市上本町 10 番 18 号

電話 (0947) 44-0460 FAX (0947) 45-6540

URL <https://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/>



宗像医師会病院

MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院長 **伊東 裕幸**

〒 811-3431

福岡県宗像市田熊五丁目 5 番 3 号

電話 (0940) 37-1188 FAX (0940) 37-0016

URL <http://www.mmah.jp>



社会福祉法人 **福岡県済生会** 支部

福岡県済生会福岡総合病院

院長 **定永 倫明**

〒 810-0001

福岡市中央区天神一丁目三番四六号

電話 (092) 771-8151 FAX (092) 716-0185

URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

E-mail byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp

医療法人 ユーアイ



理事長 **西野 豊彦**

〒 820-0206

福岡県嘉麻市鴨生 532 番地

電話 (0948) 42-1114 FAX (0948) 42-4790

E-mail nishino1114@miracle.ocn.ne.jp



医療法人 井上会

篠栗病院

SASAGURI HOSPITAL

理事長 **陣内 重三**

〒 811-2416

福岡県糟屋郡篠栗町田中 1 丁目 10 番 1 号

電話 (092) 947-0711 FAX (092) 947-0715

URL <http://www.sasaguri.or.jp>



社会医療法人 **雪の聖母会**

理事長 **井手 義雄**

聖マリア病院

病院長 **谷口 雅彦**

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地

電話 (0942) 35-3322 FAX (0942) 34-3115

URL <https://www.st-mary-med.or.jp/top.php>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 **井手 睦**

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5

電話 (0942) 35-5522 FAX (0942) 34-3306

URL <https://www.st-mary-health.jp>



国家公務員共済組合連合会

浜の町病院
HAMANOMACHI HOSPITAL

病院長 谷口修一

〒810-8539

福岡市中央区長浜3丁目3番1号

電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262

URL <https://hamanomachi.kkr.or.jp>

E-mail info@hamanomachi.jp



医療法人 緑心会

福岡保養院

Fukuoka Hoyouin

理事長 大村重成

〒815-0004

福岡市南区高木1丁目17番5号

電話 (092)431-3031 FAX (092)431-3190

URL <https://f-hoyouin.com>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市立こども病院

Fukuoka Children's Hospital

院長 楠原浩一

〒813-0017

福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号

電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300

URL <https://childhp.fcho.jp>



社会医療法人財団 池友会

福岡和白病院

院長 蒲池浩文

〒811-0213

福岡市東区和白丘2-2-75

電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051

URL <https://www.f-wajirohp.jp>



田川市立病院

田川市 鴻江俊治
病院事業管理者

病院長 荒木優

〒825-8567

福岡県田川市大字楠1700番地2

電話 (0947)44-2100 FAX (0947)45-0715

URL <https://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>

E-mail shiritsubyuin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp



公立学校共済組合

九州中央病院

Kyushu Central Hospital

病院長 北園孝成

〒815-8588

福岡市南区塩原三丁目23番1号

電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540

URL <https://www.kyuchu.jp>



社会医療法人
弘恵会 ヨコクラ病院

理事長 横 倉 義 武
院 長 横 倉 義 典

〒 839-0215
福岡県みやま市高田町濃施 480 番地 2
電 話 (0944) 22-5811 FAX (0944) 22-2045
URL <https://yokokura-hp.or.jp>
E-mail info@yokokura-hp.or.jp



公立八女総合病院
Yame General Hospital

院 長 田 中 法 瑞

〒 834-0034
福岡県八女市高塚 540 番地 2
電話 (0943) 23-4131 / FAX (0943) 22-3185
URL <https://www.hosp-yame.jp>



独立行政法人 国立病院機構
福岡東医療センター

院 長 中 根 博

〒 811-3195
福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1 番 1 号
電 話 (092) 943-2331 FAX (092) 943-8775
URL <https://fukuokaeh.hosp.go.jp>
E-mail 605-shomu@mail.hosp.go.jp



医療法人 済世会

河野名島病院
KAWANO NAJIMA HOSPITAL

理事長 河 野 正 美
院 長 津 田 泰 夫

〒 813-0043
福岡市東区名島 4 丁目 28 番 53 号
電 話 (092) 681-5231 FAX (092) 672-1525
URL <https://www.kawano-hp.com>
E-mail kawanonajima@kawano-hp.com



原土井病院
HARADOI HOSPITAL

理事長 原 祐 一
院 長 野 村 秀 幸

〒 813-8588
福岡市東区青葉六丁目 40 番 8 号
電 話 (092) 691-3881 FAX (092) 691-1059
URL <https://www.haradoi-hospital.com>

編集後記

ほすぴたる 779 号をお届けします。

今夏は、6 月末から、あっというまに猛暑となりました。梅雨があったのかどうかさえ、定かではありません。連日の猛暑日に、体調コントロールの難しさを感じる方も、多いことでしょう。

そのような中、会員の皆様から、貴重な原稿をお寄せいただき、大変充実した内容の“ほすぴたる”を発刊することができました。著者の皆様に、心より御礼を申し上げます。

さて、“ミスタープロ野球”こと、長嶋茂雄氏が、6 月初旬に亡くなりました。たくさんの喜びを与えてくれた氏の訃報に、多くの方々が悲しみにくれたことでしょう。私も小学生の頃は、いっぱしの

野球少年で、長嶋選手は憧れの人でした。闘志溢れるバッターボックスでの立ち姿、守備の華麗なフィールディング。少年野球のグラウンドで、格好だけ真似してみたものの、空振りや、エラーばかりでした。当時、刊行された、「週間少年サンデー」の初版の表紙は、長嶋選手が飾っており、今でもよく覚えています。多くの人々に夢を与えてくれた長嶋茂雄氏に、心より感謝を申し上げたいと思います。

もうひとつ、長嶋氏にあやかって、言ってみたいと思います。今度は空振りも、エラーもしないぞ。

「わが“ほすぴたる”は、永久に不滅です」。

(岡嶋泰一郎 記)

ほすぴたる

第 779 号

令和 7 年 7 月 20 日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集人 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1
麻生ハウス 3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…中村 雅史

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…平 祐二

編集委員…壁村 哲平・岩永 知秋

中房 祐司・伊東 裕幸

横倉 義典・大嶋 由紀

第16回県民公開医療シンポジウム

健康で 長生きする ためのヒント

入場無料

～あなたの体力、睡眠、そして肺炎の予防は？～

令和7年

日時

9月27日^土

14:00～16:00
(受付 開場13:00)

会場

アクロス福岡 国際会議場
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目1-1
電話:092-725-9113



定員 198名 (事前申込不要)

主催 公益社団法人福岡県病院協会

後援 福岡県、福岡市、(公社)福岡県医師会、(公社)福岡県薬剤師会、(公社)福岡県看護協会、(公社)福岡県栄養士会、(公社)福岡県診療放射線技師会、(公社)福岡県理学療法士会、(公社)福岡県作業療法協会、(一社)福岡県言語聴覚士会、(公社)福岡県歯科医師会、(一社)福岡県臨床衛生検査技師会、(一社)福岡県私設病院協会、(一社)福岡県精神科病院協会、(一社)福岡県医療法人協会、(一社)福岡県病院薬剤師会、日本糖尿病協会福岡県支部、(一社)福岡市医師会、(一社)福岡市歯科医師会、(一社)筑紫医師会、(一社)粕屋医師会、(一社)糸島医師会、(一社)宗像医師会、西日本新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、NHK福岡放送局、(株)福岡放送、RKB毎日放送、(株)テレビ西日本、KBC、テレQ (順不同)

1 開会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 会長
九州大学病院 病院長

中村 雅史

2 シンポジウム

座長

久山療育園重症児者
医療療育センター センター長

岩永 知秋



講演① 「フレ、フレ/フレイル知らずの 明るいシニア生活のために」

特定医療法人社団三光会
誠愛リハビリテーション病院 院長

長尾 哲彦先生



講演② 「良い睡眠のために」

国立病院機構福岡病院
睡眠センター 前センター長

中野 博先生



講演③ 「肺炎とその予防」

産業医科大学病院 副病院長
産業医科大学医学部 呼吸器内科学 教授

矢寺 和博先生

質疑応答

3 閉会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 副会長
医療法人原三信病院 理事長

平 祐二